

## 平成 26 年度光産業技術標準化会総会

平成26年度の光産業技術標準化会の総会を平成26年7月31日（木）、東京丸の内の銀行俱楽部にて、65名の参加者の下、開催した。

当協会専務理事小谷泰久の主催者挨拶の後、経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 統括基準認証推進官の辻本崇紀氏が、来賓として紹介された。続いて、議長として、三菱電機株式会社 常務執行役 開発本部長の近藤賢二氏が選出され、近藤議長のもとで、2013（平成25）年度光産業技術標準化会事業報告及び2014（平成26）年度事業計画の審議が行われ、異議なく承認された。



会場風景



近藤賢二氏



辻本崇紀氏

休憩をはさみ、2件の講演をいただいた。

まず、来賓の経済産業省 辻本氏より、「国際標準化の取組強化に向けて」と題した講演がなされた。辻本氏の話は、今年5月にとりまとめられた「標準化官民戦略」についてのもので、特に新市場創造型標準化制度及び戦略的な国際標準化の推進について詳細に解説いただいた。それらを実現するための予算措置の拡充や経済産業省基準認証ユニットの課室体制の見直しについても説明いただき、最後に2014年IEC東京大会においても具体的なアクションを行う計画であることが紹介された。

次に、聖徳大学 人間栄養学部の上田伸男教授による、「日本人の寿命、疾病構造、生活習慣の変化と標準化」の特別講演があった。日本人の平均寿命は年々向上しているが、健康寿命に注目するとむしろ下がっている傾向にあることが紹介された。これを防ぎ、生活習慣を改善して、生活の質を高めるために、運動・食生活・禁煙の3項目で、簡単・具体的かつ身近な目標を掲げてアクションを起こすSmart Life Projectを上田教授は提唱された。全ての聴講者にとって、関心の深い講演内容で、健康寿命を獲得するためにどのように取り組めばよいかが具体的で非常にわかりやすかったとの声が多かった。



上田伸男教授